

2020年度ゼミ（4001 演習 3A）要覧

担当者名	末内啓子
演習テーマ	国際政治
内容 と 卒業論文の 指導方針	学部での学習をふりかえりながら、卒業論文の準備を進める。
メール・アドレス	オフィスアワーを利用すること
オフィス・アワー	月、木 昼休み
授業概要	卒業論文の準備と中間発表。脚注、参考文献リスト作成の確認。
学習目標	卒業論文の準備
授業計画	<p>【第 1 回】イントロダクション（予定、課題、評価）</p> <p>【第 2 回】卒業論文について -①</p> <p>【第 3 回】卒業論文について -②</p> <p>【第 4 回】卒業論文のテーマと構造</p> <p>【第 5 回】脚注、参考文献リストについて</p> <p>【第 6 回】序文について</p> <p>【第 7 回】卒業論文のテーマと先行研究①</p> <p>【第 8 回】卒業論文のテーマと先行研究②</p> <p>【第 9 回】卒業論文のテーマと先行研究③</p> <p>【第 10 回】卒業論文における「学際性」とは</p> <p>【第 11 回】卒業論文計画発表①</p> <p>【第 12 回】卒業論文計画発表②</p> <p>【第 13 回】卒業論文計画発表③</p> <p>【第 14 回】卒業論文計画発表④</p> <p>【第 15 回】まとめ</p>
予習	毎回の授業で、次回の予告と課題を説明。
復習	授業後、振り返り、次回授業の準備
授業に関する注意 事項	出席を前提とする
教科書	
参考書	戸田山和久『新版 論文の教室——レポートから卒論まで』NHK ブックス、2012 年。
成績評価の基準	レポート 50%（レポート①20% 「卒業論文」テーマと先行研究、レポート②30% 「卒業論文」テーマ、先行研究、文献リスト）、授業の参加度（発表、討論、コメントなど） 50%
関連 URL	
備考	

2020 年度ゼミ (4002 演習 3B) 要覧

担当者名	末内啓子
演習テーマ	国際政治
校外実習	1、実施しない
メール・アドレス	オフィスアワーを利用すること
オフィス・アワー	月 木 昼休み
2021 年度に開講し ない可能性 (在外研究・特別 研究)	なし
授業概要	卒業論文の準備と中間発表。脚注、参考文献リスト作成の確認。学部の四年間をふりかえることで、「国際的とは」、「学際的とは」、「国際学とは」について考える。
学習目標	卒業論文の完成と学部での学習をふりかえる。
授業計画	<p>【第 1 回】イントロダクション (予定)</p> <p>【第 2 回】卒業論文の構造、進捗状況</p> <p>【第 3 回】卒業論文と「問い」</p> <p>【第 4 回】卒業論文中間発表</p> <p>【第 5 回】卒業論文中間発表</p> <p>【第 6 回】卒業論文中間発表</p> <p>【第 7 回】卒業論文と「学際性」</p> <p>【第 8 回】「国際的」とは？「オリジナリティ」とは？</p> <p>【第 9 回】卒業論文発表</p> <p>【第 10 回】卒業論文発表</p> <p>【第 11 回】卒業論文発表</p> <p>【第 12 回】卒業論文発表</p> <p>【第 13 回】卒業論文発表</p> <p>【第 14 回】卒業論文発表</p> <p>【第 15 回】卒業論文発表</p>
予習	授業中に次回授業の準備を指導。
復習	授業をふりかえりながら、次回授業の準備
授業に関する 注意事項	毎回の授業に出席することを前提とする。
教科書	教養教育センター『アカデミック・リテラシー・ハンドブック』
参考書	戸田山和久『新版 論文の教室——レポートから卒論まで』NHK ブックス、2012 年。
成績評価の 基準	レポート 50% (レポート①25%, レポート②25%)、授業の参加度 (発表、討論、コメントなど) 50%
関連 URL	
備考	